

令和8年度 第3回 政策調整会議 会議録

◆開催日時：令和8年8月13日（木） 10：01～10：21

◆開催場所：第1委員会室

◆出席委員：藤浪副市長、岸副市長、谷教育長、高井総合政策部長、谷口総務部長、新内財務部長

◆説明者：中井企画課長、高井政策担当主幹、吉本担当員

◆審議事項

総合計画「将来ビジョン・岸和田」第2期基本計画における重点目標について・・・企画課⇒承認

◆審議概要

◎付議依頼書等に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈藤浪副市長〉既存の総合計画の体系を3つの重点目標にグルーピングしているが、どの個別目標がどの重点目標にまとめられているのか分かりにくい。重点目標と既存の個別目標の体系との関係を把握できるような、縦軸・横軸で整理した表などはもとの計画にもあるのか確認したい。

〈企画課長〉第1期基本計画では、重点目標と既存の体系との関係を、「関連する個別目標の方向性」として、重点目標の下に文言で示している。

〈藤浪副市長〉文言だけでは分かりにくいので、マトリックス図を活用するなど、視覚的にグルーピングがわかりやすい表記を検討してほしい。横断的に施策をグルーピングしているということを示す図があればよりわかりやすくなるかと思う。

〈企画課長〉計画をまとめる中でそういった表現を加えるよう検討する。

〈岸副市長〉重点目標1・2・3に序列はなく、横並びという認識でよいのか。

〈政策担当主幹〉認識のとおり。

〈岸副市長〉第1期基本計画では、各重点目標の中に「方向性1・方向性2」として整理されていたが、今回はその表示方法が変更されている。わかりやすいと思うが、見せ方を変更した理由について確認したい。

〈政策担当主幹〉数ある個別目標の中から、重点的に実施するものを抽出して整理しているところ、見せ方についてもシンプルかつ簡潔に、という意図で変更した。

〈岸副市長〉シンプルでわかりやすい構成は、読みやすさや内容への入りやすさにつながるのよいと思う。今後は各課と調整しながら作成を進めてほしい。

〈教育長〉教育委員会としては、教育の充実、特に学力の向上や、不登校やいじめをはじめとした問題行動への適切な対応について、充実させる内容であると理解している。

〈総務部長〉各重点目標の下に「関連する個別目標の方向性」を整理している中で、「地域の活性化を導く拠点の形成を進める」「拠点とのアクセス性の向上を図る」の2項目については重点目標3にも関連すると思われるが、最終的に重点目標2に位置づけている。また、「適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める」の項目については重点目標

2・3両方に位置づけている。片方は一本に集約し、片方は2つの重点目標両方に位置づけていることについて、何か議論があったのであれば教えてほしい。

〈政策担当主幹〉「拠点形成」や「アクセス性の向上」は、重点目標3に寄与する部分があるものの、インフラ整備などの「暮らしを守る持続可能なまちづくり」につながる具体的な取組を重点として挙げることから、重点目標2に位置づけた。一方、「適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める」は、スマートシティ、行財政改革、行政DXの推進など重点目標2に関わる取組と、ふるさと寄附の獲得など別の重点目標に関わる取組に分かれるため、一つに分類するのが難しく、重点目標2と3の両方に位置づけた。実際には、重点目標をまたいで横断的に取り組むことも想定している。

〈総務部長〉複数の重点目標に位置づけることも一つに集約することも可能であり、「個別の取組イメージ」の内容に応じて、それぞれの重点目標に整理しているという理解でよい。

〈政策担当主幹〉お見込みのとおり。横断的に取り組むことについては、審議会でも意見が出ており、その考え方も踏まえて今回の整理を行っている。

〈藤浪副市長〉行政の役割に基づいて分類しているため、関連する個別目標の方向性が分かりにくくなっている。行政の役割と個別目標の関係をマトリックス形式などで整理することで、より見やすく、分かりやすくなるのではない。

〈総合政策部長〉計画をまとめる上では、わかりやすい施策のグルーピングの表記を検討する。原案のとおり、政策決定会議に諮ることとしてよい。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり政策決定会議に付議する。

令和8年8月3日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	総合計画「将来ビジョン・岸和田」第2期基本計画における重点目標について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	第2期基本計画期間中(2027～2030)に重点と位置付ける目標を定め、“選択と集中”によって限りある資源を効率的・効果的に活用した取組を実施するにあたり、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第1号(市が定める総合計画の基本構想及び基本計画に関する事項)及び第2号(予算編成の基本方針に関する事項)に基づき付議するものです。
説明者 (部長は説明者に含まない。)	中井企画課長、貝口参事、 高井政策担当主幹、吉本担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和8年度 第3回会議
付議事項	総合計画「将来ビジョン・岸和田」第2期基本計画における重点目標について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	基本構想で掲げている基本理念「笑顔にあふれ、誰もが”幸せ”を感じる都市」の実現に向けて、第2期基本計画期間(2027～2030)で何に重点を置くのかといった”選択と集中”を明らかにし、総合計画で描いた将来像に向かってまちづくりを進めていきます。

★総合計画上の位置付け

6020201	基本目標	みんなでつくる持続可能なまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	持続可能で信頼される行政になっている
	個別目標の方向性	② 適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める
	行政の役割	目標の達成に向けて、計画的かつ適切な施策の推進及び進行管理、公平公正な事務の遂行に努める

★現状と課題

第5次総合計画「将来ビジョン・岸和田」では、地域自治、公民協働の向上をめざし、市民参加による策定過程を重視した計画づくりにより、基本構想及び第1期基本計画を定めました。第2期基本計画策定においては新たに、オンラインの市民参加プラットフォームにより、まちづくりの主体者となる市民がめざす個別目標や、目標達成のためにできること等を広く意見聴取しています。

重点目標については市長公約を中心に、総合戦略、市民意識調査において満足度が低かった施策等も参考にして、第2期の4年間で重点的に取り組む目標と、その目標を具体化した取組イメージを示すこととしています。

重点目標、総合戦略部分の改訂も含め、年度中の第2期基本計画策定に向けて引き続き作業を進めます。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
総合計画審議会開催費用			445	927			695	695	
第2期基本計画印刷費				400				400	
総合計画の進行管理		8	8	20	20	20	20	20	20
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源	8	453	1,347	20	20	715	1,115	20
	その他								
事業費			計		R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
			1,890		20	20	715	1,115	20

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性				R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
有		(無)						

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	R6年度	R7年度	R8年度	目標値				
						R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。